

初の意見交換会

語って考えよう

政策提言への第一歩



白馬 議会だより

目次

- 2-3 意見交換会
白馬の未来を
語って考えよう
- 4-5 意見交換会
「観光」「福祉」「教育」
「ごみ・環境」を考える
- 6-7 委員会審議
- 8-9 補正予算の概要
討論・発議・質疑応答
議決結果
- 10 閉会中の活動
- 11-19 一般質問
- 20 視察研修報告
- 21 議長派遣の主なもの
他
- 22 わたしのひとこと
あとがき

白馬村議会では、メインテーマ1つとサブテーマ4つで10月29日に意見交換会を開催しました。多くの皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。意見交換会では、誠にありがとうございました。意見交換会を通じて村づくりへとつなげていきたいと思ひます。今後とも議会へのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたしします。

出された意見に対する対応は？ テーマ「身近な議会を目標して」

Q 村の人口が9000人切っているが、議員定数についての考えは、常任委員会が2つあり6名ずつで運営している。減らすと運営が難しくなってくる。議員のなり手不足という問題もあり課題と考える。

A 委員会のうちの議員同士の討議がない。議論活発な委員会にしたい。

Q 各委員会で課題を決め、解決に向けて議論を始めた。請願陳情の提出期限についての考えは。

A 前の月20日を目安としている。委員会に振り分ける作業と、案件に対しての各議員の勉強する時間もある必要があるので期日を設けている。

Q 過去に政策提言をされたことは。

A 観光産業で成り立っている村であり、雪不足対策についての提言書を提出。

Q 今日の見解交換会に出た意見。要望を、行政側にとどのような対応を求めているのか。

A 議会にものを申しても変わらない、言い、言ってもしょうがないと思われ、意見は委員会等で集約し対応していく。頂いた意見に対して解決策まで考えるのが役目と考える。

意見 議会だよりが村民にどの程度配布されているのか疑問。区の未加入世帯には配布されていない。全世帯に届くようにしたい。

・本会議での議員質問が少なすぎる。疑問に思ったことは本会議場ですべき。

・委員会にケーブルテレビを入れて欲しい。村民にとって非常にためになる情報だ。

・12名一丸となって政策提言をして欲しい。

